

図書だより ライブラリーニュース
Library News

平成 30 (2018) 年 10 月
府中市立府中第八中学校
図書室担当 粟谷千衣子

10 月になり、日暮れが早くなってきました。だんだん秋が深まってきましたね。いよいよ読書の秋です。今月 27 日からは読書週間が始まります。今年の標語は「ホッと一息、本と一息」です。忙しい毎日だと思いますが、夜が長くなって、涼しくなってきたこの時期、ぜひ、本を読んで、“ホッとする”時間をもってください。本は、きっとあなたを、あなたが知らない世界に誘ってくれるはずです。

あてのない消息

北原 白秋

あてのない詩でも書こうよ。

渡鳥来る日和なら、
ひより

窓に音する時雨なら、
しぐれ

竹にじねんじよ、
つた 葛のはな、

とりとめもない秋なれば。

この詩は、とりとめもない秋の日の心境をうたったものです。「消息」というのはここでは、手紙や便りのことです。

『少年少女のための日本名詩選集』

2 北原白秋
あすなる書房より

9月の図書室 (開館日数 15 日)

入館者数 1064 人 (1 日平均 70 人)

	男子	女子	合計
1 年生	168	286	454
2 年生	206	274	480
3 年生	41	89	130

貸し出し冊数 504 冊

学年毎の上位クラス		
1-C 213	2-C 80	3-E 35
1-B 27	2-A 17	3-F 17
1-D 15	2-G 17	3-A 11
1-E 14		3-C 10

貸し出し期限が過ぎている本を持っている人には催促状を出しています。受け取った人は至急返却してください。図書室の本は八中生みんなの本です。貸し出しのマナーを守ってください。

10月のこよみから 10月31日はハロウィン

ハロウィンは、キリスト教(特にカトリック教会)の祝日・諸聖人の日(11月1日 All Hallows)の前夜に行われるお祭り。起源はキリスト教が伝わる以前のケルト民族の収穫祭といわれる。古代のケルト民族の1年の終わりは10月31日で、この日は、死者の霊が親族を訪ねたり、精霊や魔女が出てくると信じられていた。この地にキリスト教が伝わると、キリスト教の行事に取り入れられて、今日のハロウィンの行事となった。

10月生まれの作家リスト (生まれ年の上に*がある作家は、旧暦あるいはユリウス暦での誕生日を表しています。)

3日 下村 湖人 (1884)	10日 野坂 昭如 (1930)	21日 江戸川 乱歩 (1894)	28日 ツルゲーネフ (1818)
4日 辻 仁成 (1959)	島中 恵 (1959)	23日 土井 晩翠 (1871)	今西 佑行 1923
6日 中沢 けい (1959)	18日 阪田 寛夫 (1925)	25日 徳富 蘆花 (1868)	30日 ドフトエフスキー (1821)
9日 水原 秋桜子 (1892)	20日 坂口 安吾 (1906)	恩田 陸 (1964)	上田 敏 (1874)
大佛 次郎 (1897)	眉村 卓(1934)	26日 岩崎 京子(1922)	31日 灰谷 健次郎 (1934)

日本を代表するプロレタリア作家 こばやし たきじ 小林 多喜二 (1903~1933)

小林多喜二は1903年12月1日秋田県下川沿村(現在の大館市)に生まれた。4歳の時に一家で北海道の小樽に移り住んだ。生活は豊かではなかったが、小樽高等商業学校(現在の小樽商科大)に学んだ。在学中から文学活動に積極的に取り組み、大正から昭和への変換期を迎え、その動向を文学的に追求しようとした。卒業後、当時の拓殖銀行小樽支店に勤務。はやまよしき葉山嘉樹やゴーリキーなどの作品を通じてプロレタリア作家の自覚を持つようになり、小樽の労働運動にも関係し始める。昭和3(1928)年の共産党関係者に対する大檢舉、三・一五事件の小樽の事情を取材して書いた『一九二八年三月一日』をプロレタリア文学の機関紙『戦旗』に載せて注目される。翌年、オホーツク海に出漁するかにこうせん蟹工船乗組員の過酷な労働条件とやがて彼らが組織的な闘争に立ち上がっていく様を描いた『蟹工船』で作家的地位を確立した。また小作人と労働者の共同闘争を描いた『不在地主』を書くが、それが原因で銀行を解雇される。その後上京し、非合法下の革命運動に身を投じ、投獄と釈放を繰り返した。弾圧の中でも創作活動を続けるが、昭和8(1933)年檢舉され、特別高等警察の拷問により死亡した。

多喜二を見守り続けた母・セキの生涯を綴った三浦綾子著の『母』(角川文庫)もあるので、読んではいかがでしょうか。

* プロレタリア文学…プロレタリアは賃金労働者の意味。大正末期から昭和初期に文学は階級闘争の手段としても用いられた。

薬物乱用防止教室(11月18日)、

関連する書籍を紹介しています。

自分とは関係ないと思わず、ぜひ、手に取り、読んでください。





1年生 総合 避難所開設訓練

10月11日、1年生が地域の方々と一緒に、避難所開設訓練をしました。仮設トイレの設営やテントを張ったり、また水を確保するためのバケツリレーなど、なかなか大変そうでした。クイズ形式で避難所で想定される問題を考える班もあり、勉強になったことと思います。このところ、大きな災害が続いています。災害は起きない方がいいですが、でも「いざ」という時のために備えておきたいですね。

『子どものための防災訓練ガイド』① ②

松尾 知純 著 汐文社 369/マ

1巻は地域や家屋内の防災マップの作り方が紹介されています。2巻では災害時の正しい避難や行動のしかたをはじめ、消火活動、救命・救助活動について書かれています。

巻いて！みて！よんで！！

映画の原作を読もう！

映画・ドラマのコーナーに映画のチラシがあるものは図書室に原作本があります。チェックしてみてください。

『旅猫リポート』

有川 浩 著 文藝春秋 913/ア

一人の青年と一匹の猫が旅に出た。青年の名はサトル。猫はナナ。ナナは元野良猫で、怪我をした時にサトルに助けられ、以来一緒に暮らしていた。しかしこの旅は、ナナの新たな飼い主を探す旅だった。懐かしい人に会い、美しい風景を眺め…。やがて、明らかになる青年の生き立ちや秘密。そして…。

『羊と鋼の森』

宮下 奈都 著 文藝春秋 913/ミ

北海道の山あいの村で育った外村。高校2年の秋、学校のピアノを調律にきた板鳥さんとの出会いが彼のその後の人生を決めた。調律の専門学校を卒業し、板鳥さんと同じ楽器店に就職。調律師として歩み始める。外村が、周囲の人に助けられながら、真摯にピアノと向かい合う日々を描いた素敵な物語。2016年本屋大賞受賞作品

この秋、『走れ！T校バスケット部』（2年生課題図書）や『ピブリオ古書堂の事件手帖』、『億男』などが公開されます。

十月（旧暦）の月の異名は神無月。

神様たちは出雲へ出張。出雲大社に集まって会議らしい。神様が集まる出雲の国では神在月かみありつきと言うそうです。

『古事記ゆる神様 100 図鑑』

松尾 たいこ 著 講談社 172/マ

伊勢神宮の取材をきっかけに『古事記』に興味を持ったイラストレーターが、『古事記』に登場する神様たちを紹介したいと、作ったのがこの本。イラストによる『古事記』の名場面もあって楽しく読めます。祀られている神社やご利益も載っています。

『すべての神様の十月』

小路 幸也 著 PHP研究所 913/シ

日本には八百万やおももの神様がいますと言われます。山の神や九十九神、貧乏神ひんぱんかみに疫病神、死神だって神様で、私たちのすぐそばにいるらしい。そして、見守ってくれているらしい。この本は、そんな神様たちと人との心温まる短編連作集。

芸術の秋

秋を満喫しよう！

食欲の

『国宝の解剖図鑑』

佐藤 晃子 著 エクスナレッジ 709/サ

国宝とは、たぐいえない国民の宝であるとして国が指定したものです。この本には写真が載っていないので、それぞれの色彩は分かりませんが、イラストと短いフレーズの説明で、見どころがわかりやすいです。索引もあって調べるのに便利です。

『色鉛筆リアル画 超入門』

林 亮太 著 講談社 725/ハ

表紙は写真と見間違ふほどリアルな色鉛筆画。本文ではこの絵の描き方が、説明されていますが、使っている色鉛筆はたったの13色。色は混色することで生み出し、そして塗ったところをナイフで削ってハイライトを表現するそうです。

『高校生レストランまごの店 おいしい和食のキホン』

村林 新吾・相可高校調理クラブ 著 岩波書店 596/ム

三重県立相可あひらか高校の調理クラブはメディアでも取り上げられるレストランを運営しています。この本には、だしのとり方から、野菜の下ごしらえや天ぷらなど基本のおかずの作り方、生徒さんたちの「私の一品」も載っています。美味しそう!!

『イチからつくる カレーライス』

関野 吉晴 編 農文協 610/イ

探検家の関野吉晴さんが武蔵野美術大学で行っている課外授業、「カレーライスを一からつくる」の記録です。一から作るとは、お米も野菜も肉もそしてスパイスも、さらには食器も！食べるだけでなく様々な事を考えさせられる本です。